

会議要旨から

〔委員〕 学校★(ほし)ほんの登録者数ですが、神栖地区 1 校に対し、波崎地区は 10 校でこの利用人数なのは、ちょっと少なめなのかなと思います。何か理由があるのでしょうか。波崎地区は 1 人当たりの貸出申し込み数は多いようですので、利用はあるようなのですが。

〔図書館〕 学校★(ほし)ほんお届けサービスは、息栖小学校で試行(2020 年 9 月)スタートしました。息栖小では読書量が増え、本を読む児童が多い環境でした。この試行当初は順調だったのかなと思います。

一方で波崎地区ですが、本を借りて読むという習慣があまりないようで、そのために登録者数もなかなか伸びない感じでした。このため「おすすめ図書のリスト」を毎月 2 回発行したり、学校訪問の際に周知活動を行い、少しずつ増えているようです。今年度、息栖小においては 3 年目になりますが、新鮮さがなくなってきたためか、最初の頃と比べると利用が落ち込んできているようです。

一方、今年度から神栖地区で新しく開始した「大野原小」や「横瀬小」など、特に大野原小では、利用が一気に増えているところです。先日、大野原小には、一週間ほど出前講座で行っていたのですが、講座の際に「★(ほし)ほん」の紹介や説明などもしました。そういう PR なども効果があったのかなと感じております

〔委員〕 懸案でありました中央公民館図書室のフリースペース化について、新しい公民館図書室の活用方法に大いに期待したいと思います。学生がロビーで勉強している姿を見ていると、早くフリースペース化を望みます。

〔図書館〕 中央公民館図書室での貸出しが低迷している中で、委員のご意見を含め個人の自主学习やグループでの活動スペースが欲しいとの要望がありました。

平成 15 年改正「公民館の設置運営に関する基準」において、必要な施設として「図書室」がなくなる一方で「オープンスペース、パソコン利用に資する」などが示されていることから、今回、中央公民館において予算措置を含めリニューアル工事を進めます。

図書館サービスについては、公民館と連携し、返却や予約資料の受け渡しなどが可能な拠点としての機能を維持します。

〔委員〕 「自宅お届けサービス等、状況に応じた柔軟な対応に努めます。また新たな図書館サービス」というのは、具体的にどのようなことですか。

〔図書館〕 図書館の臨時休館、学校の休校などのコロナ禍に対し、「建物が使えなくても市民の読書支援、図書館サービスはできる」と全国の図書館が腐心しました。神栖市においても、建物入り口での予約資料の受け渡しサービス、自宅お届けサービス、自宅で読める青空文庫紹介ホームページ作成を行いました。

〔委員〕 小中学校の調べ学習用図書の予算が少なくなっています。できれば令和 3 年度くらいの予算があるとよいと思う。学校図書館の図書が少なく探すのも大変ですので、充実した図書館であってほしいです。資料を自分で探す子どもが育ってほしいです。

〔図書館〕 市立図書館では、学校図書館の調べ学習用図書を支援するため、平成 26 年度から「調べ学習用図書セット貸出」を開始しました。現在 40 テーマ、5、283 冊所蔵し、令和 2 年度は 3、160 冊貸出しました。市の全予算の抑制方針に対応し、学校図書館購入費を優先するため、調べ学習用図書費を減額し調整しました。今後は、教科書改訂に対応した選書など、学校と連携し、利用促進に努めます。

〔委員〕 館内の検索機が指で押すのがかなり力が必要で、入力しづらく思いました。改善工夫を。

〔図書館〕 コロナ対策として抗菌・抗ウイルスフィルムを貼りました。ご意見をいただき他社のフィルムを準備し、比較しましたが、フィルムでの対応は難しいようです。このためフィルムは取り外し、利用者には使用後に手指消毒していただくよう改善いたします。